



日時	8月25日(木)～26日(金)
場所	宮城県石巻市、宮城郡七ヶ浜町
参加人数	22名(男性20名、女性0名、事務局2名)

● 活動内容



初日は、石巻市牡鹿ボランティアセンターの依頼で、牡蠣の貝殻の分別作業を行いました。

牡鹿半島の谷川浜の国道51号線沿いの作業現場に入ると、目の前に山積みの牡蠣の殻がありました。その中から牡蠣の身の入っていた側と蓋になっていた側を分別しました。この殻の分別の目的はホヤの養殖です。身の入っていた殻を紐でつないで海中に沈めると、ホヤが卵を産み付けるとのことです。

しかし、ホヤの養殖は出荷まで3年という長い時間がかかるというお話でした。それでも「ホヤの養殖は牡鹿半島の人たちの生活を支えるために必要な事業の一つ」と考え、現地では養殖への取り組みを始めていました。今日の作業を行うことで、ホヤ養殖復興への助けとなったことをとてもうれしく思います。



2日目は、七ヶ浜町災害ボランティアセンターの依頼で、菖蒲田浜の松林で活動を行いました。

運びやすいように切断された松の枝や幹などを松林の外へ搬出する作業でした。人力で作業を続ける中、途中で個人ボランティア3名も加わった作業となりました。

活動終了後の反省会では、「移動などの影響で、活動時間が短くなって残念だった」「これからもボランティアに参加したい」と意欲的な意見が出されました。